



アンサーホールディングスの前田啓美常務取締役。組織体制の構築から拠点拡大、場といった成長のプロセスを支えた。現在も新規事業などに取り組んでいる

アンサーホールディングスの前田啓美常務取締役。組織体制の構築から拠点拡大、場といった成長のプロセスを支えた。現在も新規事業などに取り組んでいる

も携わってきた。前田さんが入社して3年後には、保険代理店と家賃保証を手掛ける子会社(株)アンサーライフを設立し、取締役に就任した。入社以来さまざまな実績を上げ、3年間でチーフ、課長、社長席付、常務取締役と役員クラスまでステップアップしてきたが「入社当

時は、1人目の子どもが2歳。さらに、すでに役員に就いていた41歳で2人目を出産した」といふ、子育ての真っ只中もあつた。仕事内容も変化して、仕事と育児の時間が限られた中で、時間をどう使うかがテーマで「一般的には夜に外食をする家庭が多いと思うが、夜に時間が取れないことも多かったため、我が家では家族の時間が主に朝だった。モーニングが評

### 新卒採用開始が大きな転機に

2011年、社員数が25人ほどだった時に、前田さんがブログに綴っていた「北九州に自社ブランドのかわいいアパートを建てる」、「従業員100人」、「新卒管理職を育てる」という目標は、すべて達成した。その中でも「2008年4月、2店舗目の八幡店を開設した時の喜びは今でも覚えている」と振り返

が、まだまだ成長途上で、社内を見ると売り上げが低迷し、人材育成に苦戦していた」と話す。「さまざまな課題があつた中でも、代表の三谷が諦めずに採用を続け、会社を大きくしようとしていた。その姿勢に共感した」というのが、同社で腰を据えて働く決り手になった。入社後、管理面でまず

取り組んだのが、仕事の役割分担の明確化と、人事評価制度や給与体系の整理。研修や支援制度のほか、社内行事も決まっていたので、前田さんが主導で企画しコミュニケーションを活性化させた。また、売り上げを上げていくために、新規事業や新会社の立ち上げに

も携わってきた。前田さんが入社して3年後には、保険代理店と家賃保証を手掛ける子会社(株)アンサーライフを設立し、取締役に就任した。入社以来さまざまな実績を上げ、3年間でチーフ、課長、社長席付、常務取締役と役員クラスまでステップアップしてきたが「入社当

判の喫茶店を探したりして、朝の外食を楽しんでいた」という。「仕事をしていく上で、家族に自分の夢を伝え、理解してもらっていたことも大きい。今では子育ても身体的に手がかかるところから、人間的に向き合っていく段階に入り、子どもが悩みや壁にぶつかった時に向き合える信頼関係づくりを心掛けていくところ」と話す。

谷が考える企業としての柱には、雇用と売上、納税がある。成長の理由を聞かれることも多いが、人を採用して育成し、社会の役に立つて利益を上げていくというシンプルなミッションを追求してきたことが、現在につながっているのでは」と分析する。



アンサーホールディングス

アンサーホールディングス  
 (株)アンサー倶楽部  
 (株)サンクスライフ  
 (株)ライフエナジー  
 (株)アンサープロパティ  
 北九州アンサー情報サポートセンター

北九州 東区 東区  
 北九州女性活躍プロジェクト

てきて「南さんだからこそ、お願いしたい」と打診を受けた。きっかけは、南さんの交渉力や調整力、仕事への姿勢を評価した取引先からの推薦で「多くの人と関わる中で、外

### 支援制度が「使いやすい」環境整備を

現在、同社では成長戦略の土台として、ダイバーシティの発想で「個々の能力を最大限に発揮できる企業風土づくりに取り組んでいる。社員の能力開発や組織の活性化のための取り組みとしては、本人の希望と会社のニーズを考慮したジョブ・ローテーションを実施。働き方改革も進み、育児や介護のための休職制度などワークライフバランス実現のための制度が設けられている。南さん自身も仕事と並行して子育てをしてきたが、入社当時はまだ社員数が少なく、就航までの準備が大詰めを迎えてい

これまでのキャリアを「未経験のことが多く、目の前のミッションを完遂するために仕事をしているうちに、現在のポストに就いていた」と振り返る南さん。「特別なことではなく、その時々になされた環境で、担当する業務を極めようと努めてきたことの積み重ねが認めてもらえたと思っ

### 成長・拡大へ、組織づくり主導

#### 独自の問題意識で新規事業開拓も

#### 前田啓美 常務取締役

2022年に東証の東京プロマーケットへの上場を果たした(株)アンサーホールディングス(北九州小倉北区、三谷俊介社長)。(株)アンサー倶楽部を中核企業に、不動産の賃貸・売買・管理業務、リフォーム事業などを手掛ける総合不動産企業への成長を支えてきた役員

約10年ぶりに地元北九州に戻り、再び就職活動をする中で見つけたのが(株)アンサー倶楽部の求人だった。「経験があるメーカーでの事務職なども考えたが、不動産業は生活に欠かせない『衣食住』の『住』の部分を担当し、需要は底堅い。また全てのお客さまに対応できる総合不動産業は長い目線で考えると魅力を感じた。加えて、自分が商品になる仕事だという点もやりがいをもって働ける」と考え、応募したのがきっかけだった。

